

三重塔 [四本龍寺]

三重塔が建立されたのは、1241年、現在東照宮が創建されたころです。しかし後になって、この場所に移転されました。1684年に、火事で三重塔は全焼。現在ある建物は1865年に再建されたもので、三重塔には3体の仏像、いわゆる木製の釈迦三尊像(2体の菩薩に伴われた釈迦如来の像)が安置されています。

中国の“干支”で知られる12匹の動物の彫刻が、この三重塔の初層の支持梁に施されています。どの動物も、1日のそれぞれ異なる時間、異なる方位に関係しています。12匹の動物は、時計にでいう二時間間隔で、方位磁針でいう三十度間隔で配置されています。東西南北は、馬（南）、ニワトリ（西）、ネズミ（北）とウサギ（東）で表されており、それぞれ午後十二時、午後六時、午前十二時と午前六時を意味しているのです。